

2016年3月15日
米国研究製薬工業協会

米バイオジェン社 CEO ジョージ・A・スキャンゴスが 米国研究製薬工業協会 (PhRMA) 会長に就任

ホアキン・デュアト ジョンソン・エンド・ジョンソン、ヤンセンファーマシューティカルズ、
ワールドワイド・チェアマンおよび、
ジョセフ・ヒメネス ノバルティス AG、CEO が新役員に就任

※当資料は、米国研究製薬工業協会米国本部が、現地時間 2016 年 3 月 10 日に発表した報道資料の抄訳を日本でまとめたものです。

ワシントン DC、2016 年 3 月 10 日：米国研究製薬工業協会 (PhRMA) の理事会は本日、バイオジェン社 (Biogen Inc.) CEO のジョージ・A・スキャンゴス (George A. Scangos) を会長に、ジョンソン・エンド・ジョンソン (Johnson & Johnson, Inc) の医薬品部門であるヤンセンファーマシューティカルズのワールドワイド・チェアマンのホアキン・デュアト (Joaquin Duato) を PhRMA 次期会長に、ノバルティス AG (Novartis AG)、CEO のジョセフ・ヒメネス (Joseph Jimenez) を理事会財務担当責任者に選任したことを発表しました。スキャンゴスは米メルク社 (Merck & Co., Inc.) の会長兼 CEO であるケネス・C・フレイジャー (Kenneth C. Frazier) の後任として、PhRMA の会長に選任されました。

PhRMA の理事長兼 CEO であるスティーブン・J・ユーブル (Stephen J. Ubl.) は次のように述べています。「ジョージ・スキャンゴスを会長として迎えることができ、とても嬉しく思いますし、昨年 1 年間に主導的役割を果たしてくれたケネス・フレイジャーにはとても感謝しています。私たちは患者さんがより長く、健やかな人生を送るための手助けをしており、患者さんたちのために新たな薬剤や治療法の開発を行っています。科学やイノベーションが急速に進展する中、既の実証済みの統率力を伴った科学者あるいは研究者としてのジョージの経験は、PhRMA と私たちの業界にとって大いなる資産となるでしょう。彼とともに今後も、イノベーションが患者さんの役に立つことを確実にするような、実利的で消費者のためになる政策の推進に努めてまいりたいと思います」

スキャンゴスは 2010 年 6 月にバイオジェン社 CEO に就任。それ以前は、1996 年 10 月からエクセリクシス社にて社長兼 CEO を務めました。1987 年から 1996 年まで、バイエル社 R&D 部門シニア・バイス・プレジデントを務めた他、バイエル・バイオテクノロジー社の社長としてバイエル社の遺伝子組み換え医薬品の研究開発、事業開発、プロセス開発、製造、エンジニアリング、品質保証を手掛けるなど、様々な役職を歴任。バイエル社入社以前は、ジョンズ・ホプキンス大学で生物学の教授職にありました。コーネル大学で生物学の学士号、マサチューセッツ大学で博士号を取得しています。



ジョージ・A・スキャンゴス

スキャンゴスは次のように述べています。「私たちは創薬においてまさに驚くべき時代の曲がり角に立ち、より良い健康、より手頃な価格のヘルスケアといったものがこれらの創薬により実現しつつあります。こういった可能性を現実のものとするため、私たちの業界は、医療費システム全体の問題、そして患者さんたちが必要とする医療を受けるための課題を解決する政策ソリューションに貢献しなければなりません。この新たな役職を引き受け、産・学・官の関係者と協力し、科学上の発見を患者さんたちの役に立つ治療法へと結び付けるために必要な創造的な政策ソリューションを作り出していくことをとても誇らしく思います」

ホアキン・デュアトは、2011年1月から、ジョンソン・エンド・ジョンソン、ヤンセンファーマシューティカルズ、ワールドワイド・チェアマンを務めています。ジョンソン・エンド・ジョンソンにおける27年間に、営業、マーケティングから経営統括に及んでいます。製薬と医療機器の両部門において活躍し、リージョナル・チェアマンとして、様々な国と地域で現地市場におけるビジネスを主導。国際的なNPO「セーブ・ザ・チルドレン」の評議員も務めています。スペインのバレンシア出身のデュアトは、経済学の学士号の他に、バルセロナのエサデ(ESADE)ビジネススクールとアリゾナ州フェニックスのサンダーバード大学にて、国際経営修士学で修士号を取得しています。

デュアトは次のように述べています。「私たちの医薬品は世界中の患者さんたちに希望を届けています。病気を克服する能力において革新を遂げるには、入手可能な最良の治療法を患者さんたちに提供するための取り組みを更に拡大・進化させる必要があるでしょう。私たち業界の取り組みを更に推進させ、新たなソリューションや治療法をもっと患者さんたちに提供できるようになれば幸いです」

ヒメネスは2010年からノバルティス社のCEOを務めています。同社にはノバルティス・コンシューマー・ヘルスの部長として2007年に入社し、ノバルティス・ファーマの部長を経た後に、CEOに昇格。それまでは、H.J.ハインツ社の北米および欧州事業担当CEO、コルゲート・パーモリーブ社とアストラゼネカ社の取締役を歴任。現在はゼネラルモーターズ取締役を務めています。スタンフォード大学で学士号を、カリフォルニア大学バークレー校で経営学修士号を取得しています。

ヒメネスは次のようにコメントしています。「私たちのヘルスケア・システムが進化を続けている状況下では、患者さんのためになる次世代の治療法を目指した研究開発に投資をより集中させる必要があるでしょう。そのためには、イノベーションが患者さんたちにとって最高の価値を生み出すという環境を維持し続けなければなりません」

●米国研究製薬工業協会(PhRMA)

PhRMAは、米国で事業を行なっている主要な研究開発志向型製薬企業とバイオテクノロジー企業を代表する団体です。加盟企業は新薬の発見・開発を通じて、患者さんがより長く、より健全で活動的に暮らせるよう、先頭に立って新しい治療法を探求しています。加盟企業の新薬研究開発に対する投資額は、2000年からの累計では6000億ドル以上に達し、2014年単独でも推定で512億ドルになりました。

●米国研究製薬工業協会(PhRMA)日本オフィス

PhRMA日本オフィスは、米国PhRMAの会員である研究開発志向の製薬企業の日本法人で構成されており、画期的新薬が開発できる環境や患者さん中心の医療制度の確立に向けて25年以上に渡って活動を続けています。加盟企業は、アステラス・アムジェン・バイオフーマ株式会社、アヅヴィ合同会社、MSD株式会社、セルジーン株式会社、日本イーライリリー株式会社、バイオジェン・ジャパン株式会社、ファイザー株式会社、プリストル・マイヤーズ株式会社、ムンディファーマ株式会社、ヤンセンファーマ株式会社(五十音順)の10社です。

- PhRMA日本オフィスホームページ <http://www.phrma-jp.org>
- PhRMAホームページ <http://www.phrma.org>
- PhRMA日本オフィスFacebook <https://www.facebook.com/phrmajapanoffice>

【本件に関するお問い合わせ】

米国研究製薬工業協会(PhRMA)広報事務局
(株式会社ジャパン・カウンセラーズ内)

TEL:03-3291-0118 FAX:03-3291-0223

E-mail: phrma_pr@jc-inc.co.jp

〒101-0065 東京都千代田区西神田 1-3-6 ウエタケビル 4F